産経新聞　和歌山版
平成21年8月4日(火)

熊野古道活用へ

平安衣装で結婚式を

本宮町商工会が貸し出し事業

結婚式や記念日に貸し出す平安衣装

平安衣装で結婚式はいかが―。本宮町商工会（田辺市本宮町）は、本宮地域への宿泊客を増やそうと結婚式などに平安衣装を貸し出す事業を始めた。国の支援事業にも採択され、商工会では「普段は味わえない雰囲気を楽しんでほしい」とアピールしている。

本宮地域には平安時代から続く世界遺産の熊野古道があり、商工会では熊野古道を活用した事業を検討していた。結婚式だけでなく、七五三や誕生日、銀婚式などの記念日に合わせ、平安衣装の貸し出しを軸に観光プランを作成して全国に売り出す。地元業者とも連携し、宿泊や食事を伴う結婚式や記念日を事業化する考えだ。式場は主に熊野本宮大社を想定しているが、要望があれば野外でもできるという。

男性には狩衣（かりぎぬ）と呼ばれる衣装を、女性には十二単（じゅうにひとえ）の略装を貸し出す。レンタル代や着付けなどを含み、総額約12万円から。申し込みや問い合わせは商工会（☎0735・42・0269）。泉庄治会長は「国の支援も受け、全国に発信したい」と話している。

また商工会では今年6月、本宮町の地域キャラクター「ヤタガラス」の着ぐるみも作った。「やたのすけ」と「やたひめ」で、同事業の広報活動の中心に据える。ヤタガラスは熊野神の使いで、太陽の化身とされる。日本書紀には神武天皇が大和国に攻め入った際、天照大神の使いとして道案内したと記されている。